



早稲田大学ビジネススクール

インベスター  
**Investor**  
リレーションズ  
**R**elations  
オフィサー  
**O**fficer  
**養成講座**

2006.9.4 (mon) - 9.8 (fri)

大阪会場にて同時開講決定!

# はじめに

IR活動の浸透と共に、IRの実務経験を活かしてIROとしてのキャリアアップを志向する企業人が増えてきました。また、どのようにIROを育成し自社の経営に貢献させるかという課題を担った経営陣や財務担当役員も多くいらっしゃいます。このようなニーズに応じて、早稲田大学では、これまで2年間の開講実績を踏まえ、9月4日(火)より、5日間の集中IRO養成講座を開講いたします。修了者には、早稲田大学から、IROとして必要な知識・ノウハウを習得したことを証明する修了証が授与されます。

## 開講趣旨について

「企業戦略としてのIR」第1回は「受動的IRから能動的IRへ」、第2回は「転換点を迎えたIR活動」をテーマにしてIRO養成講座を、関係者の協力を得て開催してまいりました。お陰をもちまして受講者および関係者から高い評価を得ることができました。

本年の第3回IRO養成講座では、投資ユニバースに含まれている発行体または投資ユニバース入りを目論んでいる発行体を主たる対象にし、「企業戦略としてのIR」をテーマにカリキュラムを編成いたしました。そのポイントは、①「活きた情報提供でなければ、投資家をはじめステークホルダーとの適切な関係は創れない」、②「オーバーフローする企業情報を、どうしたら活きた情報に甦生させられるのか」、③「エンタープライズ・リスク・マネジメントとしての情報開示」の3点に要約できます。



- 1) 「ナンバーワンよりオンリーワン」が標榜されることに示されるように、自らのコンピテンシーを支える経営資源は手許に置く一方で、それ以外のものは外部のステークホルダーとの協働関係を形成することにより賄うことが経営効率を高める戦略課題であることが認識され始めています。
- 2) IRに優れていると称されている企業の情報提供の実態は、そのホームページに掲載されている内容を一覧すれば明らかですが、法定開示資料や適時開示資料に加え、任意開示資料として決算説明会や事業説明会の資料はもちろん、さらに環境報告書、社会責任報告書、知的財産報告書、技術説明資料など、多岐にわたる開示が行われています。時々の要請に応えることを優先し、次々に開示内容を継ぎ足してきた現実の姿を見ることができます。情報利用者の情報認知許容能力や理解能力への配慮が欠けた結果、努力して作成した情報が期待した成果を引き出せないばかりか、企業の情報開示に関する統一的マネジメントもできにくい状況を生み出しています。

- 3) 証券取引所の求めによる開示書類への経営者の宣誓に加え、「会社法」の施行に伴い株式会社に厳しい経営規律を保つことが求められ、財務報告の内部統制への監査ばかりではなく、エンタープライズ・リスク・マネジメント(ERM)にも対応しなければならない状況となっています。
- 4) 相互持合の解消過程における外人持株比率の上昇に伴い、コーポレートガバナンスや社会責任のあり様が問われるだけでなく、機関投資家の積極的な議決権行使に関する新たな対応が求められはじめたばかりでなく、外国企業への三角合併が解禁されることによる敵対的買収への対応が喫緊の課題になっています。
- 5) 個人投資家への依存を高めようとするとき、インターネット取引を活用したデイトレーダーという新たなタイプの投機家への対応が必要になるなかで、投資クラブをどのように位置づけたらよいのかが問われはじめています。
- 6) SECの新たな摘発に伴いReg.FDのあり方が改めて問い直されていること、および2003年12月に改められたMD & Aガイドラインに従って一般投資家への理解可能性の向上が一層強く求められはじめています。
- 7) アナリストが担ってきた財務情報にもとづき投資価値を発見する伝統を尊重しつつも、財務情報の企業価値説明能力が低下するなか、わが国では知的資産経営報告のガイドラインが整備されました。この関係では、英国のOperating and Financial Reviewの制度化や国際会計基準理事会のManagement Commentary、さらには米国のEnhanced Business Reporting Consortiumの動きも意識しなければなりません。

このようななか、IR活動としては、①資本市場における自社のポジションを客観的に分析し、②事業ドメインにおける潜在的能力のなかから自社のコンピテンシーが何かを時系列と関連させて明らかにし、③自社の価値形成がどのようなプロセスで実現されるかを資本市場関係者に説得的に説明し、あわせて④これらの開示情報を投資家以外の主要なステークホルダーとも共有できるように、それぞれの関心と理解力に応じて提供することが求められております。

早稲田大学 教授 花堂 靖仁

東京に5日間も行くのは不可能という方のために、今回は大阪会場をご用意しました。テレビ会議システムによる遠隔講義となります。

# インベスター・リレーションズ・オフィサー(IRO)養成講座 東京

東京・本会場

開催期間: 2006.9.4(mon) - 9.8(fri)

## 【本講座の特長】

- ・ 実務経験を活かしIROへのキャリアアップを志向する方ないし執行役員としてIROを担うことになる方 20 名前後で構成する小人数編成
- ・ 5 日間にわたり全 25 コマで編成する集中方式
- ・ 早稲田大学ビジネススクールの専任教員に加え、IRをはじめ関連実務の専門家ないし実務教育のエキスパートを講師とする講義に 4~5 人を 1 グループとするケース作成実習を含む演習を併用
- ・ 各講師が本講座のために準備する教材と関係資料を使用
- ・ 履修内容の修得証明と講座修了証の交付(東京・本会場での全日程を受講して頂く事が条件となります)

## 【カリキュラムと担当者】 ※ スケジュールおよび担当者は若干変更する可能性があります。

	時間	分類	内容	講師
9/4 (月)	1 時限(10:00~11:20)	講座開始にあたって	企業の戦略展開とIR/事務局連絡	花堂 靖仁
	2 時限(11:30~12:30)	IR環境編	企業年金連合会から企業に期待するもの	鹿毛 雄二
	3 時限(13:30~14:30)	IR環境編	セルサイドアナリストから見た日本のIR	松島 憲之
	4 時限(14:40~15:40)	IR環境編	運用機関から見た日本のIR	蔵元 康雄
	5 時限(15:55~16:55)	IR環境編	資本市場の規制の展開方向とIR	大崎 貞和
	6 時限(17:00~18:00)	IR環境編	東京証券取引所の展開方向	長友 英資
9/5 (火)	1 時限(10:00~11:20)	実務基礎編	資本コストの改善とBSC	西山 茂
	2 時限(11:30~12:30)	実務基礎編	会計基準と開示ルールの最近の動向	吉村 貞彦
	3 時限(13:30~14:50)	実務基礎編	会社法施行とIR~M&Aの新局面	鳥飼 重和
	4 時限(15:00~16:00)	実務応用編	敵対的M&A企業防衛の実務	岩田 宜子
	5 時限(16:15~17:45)	実務基礎編	デットIR	松田 千恵子
9/6 (水)	1 時限(10:00~11:20)	実務応用編	企業財務とIR	高橋 文郎
	2 時限(11:30~12:30)	実務応用編	米国におけるREGFDとガバナンス	高山 与志子
	3 時限(13:30~14:30)	実務応用編	子会社上場とグループIR	稲岡 稔
	4 時限(14:40~15:40)	実務応用編	内部統制の理解とその開示	鳥生 裕
	5 時限(15:55~16:55)	実務応用編	経営戦略としての知的資産経営	住田 孝之
	6 時限(17:05~18:00)	ケース作成	プレゼンへの準備	花堂・北川・宮永
9/7 (木)	1 時限(10:00~11:20)	IR実践編	決算説明会から見る問題点	北川 哲雄
	2 時限(11:30~12:30)	実務応用編	非財務情報開示の動向	芝坂 佳子
	3 時限(13:30~14:30)	実務応用編	XBRLの活用	筏井 大祐
	4 時限(14:40~16:00)	IR実践編	IR実践のポイント	本多 淳
	5 時限(16:15~18:00)	ケース作成	プレゼンへの準備	花堂・北川・宮永
9/8 (金)	1 時限(10:00~11:20)	IR実践編	プレゼンの実施	花堂・北川・本多・宮永・前田・高山
	2 時限(11:30~12:30)	IR実践編	プレゼンと評価	花堂・北川・本多・宮永・前田・高山
	3 時限(13:30~15:30)	総括	IR担当者に求められる知識・スキルをどう情報提供に活用するか	花堂・北川・本多・宮永・高山
	—	修了式	修了式およびパーティー(於:リーガロイヤルホテル)	—

## 【担当講師陣(予定)】

大崎 貞和	早稲田大学ビジネススクール 野村資本市場研究所	筏井 大祐	あずさ監査法人 マネジャー
吉村 貞彦	早稲田大学ビジネススクール 新日本監査法人	鳥生 裕	あずさ監査法人 シニアマネジャー
西山 茂	早稲田大学ビジネススクール 教授	芝坂 佳子	あずさ監査法人 マネジャー
花堂 靖仁	早稲田大学ビジネススクール 教授	松田 千恵子	マトリクス(株) 代表取締役
高橋 文郎	青山学院大学 教授	松島 憲之	日興シティグループ証券(株) マネジングディレクター
住田 孝之	経済産業省 技術振興課長	前田 正吾	シュローダー投信投資顧問(株) 日本株式運用統括
鳥飼 重和	鳥飼総合法律事務所 代表	蔵元 康雄	フィデリティ・ジャパン・ホールディングス 取締役副会長
稲岡 稔	(株)セブン&アイ・ホールディングス 執行役員	北川 哲雄	青山学院大学 教授
鹿毛 雄二	企業年金連合会 常務理事	宮永 雅好	アイ・アール・ビー(株) 専務取締役
長友 英資	(株)東京証券取引所 常務取締役	岩田 宜子	ジェイ・ユー・ラス・アイアール(株) 代表取締役
本多 淳	ジー・アイアール・コーポレーション(株) 上席アドバイザー	高山 与志子	ジェイ・ユー・ラス・アイアール(株) マネージングディレクター

## 【受講料】

¥420,000(税込、教材費・懇親会およびパーティー費を含む)。なお IRP 養成講座ご参加の場合、¥367,500(税込)となります。

# インベスター・リレーションズ・オフィサー(IRO)養成講座 大阪

大阪会場

開催期間: 2006.9.4(mon) - 9.7(Thu)

## 【本講座の特長】

- ・ 実務経験を活かしIROへのキャリアアップを志向する方ないし執行役員としてIROを担うことになる方対象
- ・ 早稲田大学ビジネススクールの専任教員に加え、IRをはじめ関連実務の専門家ないし実務教育のエキスパートを講師とする講義
- ・ 各講師が本講座のために準備する教材と関係資料を使用
- ・ TV 会議システムによる遠隔講義(高画質の TV で授業を見ながら、リアルタイムで講師に質問をする事が可能)
- ・ 受講枠(①~⑧)より興味ある枠を自由にセレクト

## 【カリキュラムと担当者】 ※ スケジュールおよび担当者は若干変更する可能性があります。

	時間	分類	内容	講師	受講枠	受講料(税込)
9/4 (月)	1 時限(10:00~11:20)	講座開始にあたって	企業の戦略展開とIR/事務局連絡	花堂 靖仁	①	¥21,000-
	2 時限(11:30~12:30)	IR環境編	企業年金連合会から企業に期待するもの	鹿毛 雄二		
	3 時限(13:30~14:30)	IR環境編	セルサイドアナリストから見た日本のIR	松島 憲之	②	¥42,000-
	4 時限(14:40~15:40)	IR環境編	運用機関から見た日本のIR	蔵元 康雄		
	5 時限(15:55~16:55)	IR環境編	資本市場の規制の展開方向とIR	大崎 貞和		
	6 時限(17:00~18:00)	IR環境編	東京証券取引所の展開方向	長友 英資		
9/5 (火)	1 時限(10:00~11:20)	実務基礎編	資本コストの改善とBSC	西山 茂	③	¥23,100-
	2 時限(11:30~12:30)	実務基礎編	会計基準と開示ルールの最近の動向	吉村 貞彦		
	3 時限(13:30~14:50)	実務基礎編	会社法施行とIR~M&Aの新局面	鳥飼 重和	④	¥38,850-
	4 時限(15:00~16:00)	実務応用編	敵対的M&A企業防衛の実務	岩田 宜子		
	5 時限(16:15~17:45)	実務基礎編	デットIR	松田 千恵子		
9/6 (水)	1 時限(10:00~11:20)	実務応用編	企業財務とIR	高橋 文郎	⑤	¥23,100-
	2 時限(11:30~12:30)	実務応用編	米国におけるREG.FDとガバナンス	高山 与志子		
	3 時限(13:30~14:30)	実務応用編	子会社上場とグループIR	稲岡 稔	⑥	¥31,500-
	4 時限(14:40~15:40)	実務応用編	内部統制の理解とその開示	鳥生 裕		
	5 時限(15:55~16:55)	実務応用編	経営戦略としての知的資産経営	住田 孝之		
9/7 (木)	1 時限(10:00~11:20)	IR実践編	決算説明会から見る問題点	北川 哲雄	⑦	¥23,100-
	2 時限(11:30~12:30)	実務応用編	非財務情報開示の動向	芝坂 佳子		
	3 時限(13:30~14:30)	実務応用編	XBRLの活用	筏井 大祐	⑧	¥23,100-
	4 時限(14:40~16:00)	IR実践編	IR実践のポイント	本多 淳		

## 【担当講師陣(予定)】

大崎 貞和	早稲田大学ビジネススクール	野村資本市場研究所	筏井 大祐	あずさ監査法人 マネジャー
吉村 貞彦	早稲田大学ビジネススクール	新日本監査法人	鳥生 裕	あずさ監査法人 シニアマネジャー
西山 茂	早稲田大学ビジネススクール	教授	芝坂 佳子	あずさ監査法人 マネジャー
花堂 靖仁	早稲田大学ビジネススクール	教授	松田 千恵子	マトリックス(株) 代表取締役
高橋 文郎	青山学院大学	教授	松島 憲之	日興シティグループ証券(株) マネジングディレクター
住田 孝之	経済産業省	技術振興課長	前田 正吾	シュローダー投信投資顧問(株) 日本株式運用統括
鳥飼 重和	鳥飼総合法律事務所	代表	蔵元 康雄	フィデリティ・ジャパン・ホールディングス 取締役副会長
稲岡 稔	(株)セブン&アイ・ホールディングス	執行役員	北川 哲雄	青山学院大学 教授
鹿毛 雄二	企業年金連合会	常務理事	宮永 雅好	アイ・アール・ビー(株) 専務取締役
長友 英資	(株)東京証券取引所	常務取締役	岩田 宜子	ジェイ・ユーラス・アイアール(株) 代表取締役
本多 淳	ジー アイアール・コーポレーション(株)	上席アドバイザー	高山 与志子	ジェイ・ユーラス・アイアール(株) マネージングディレクター

## 【受講料】

「カリキュラムと担当者」の表より、受講枠毎の受講料をご参照ください。

## 【その他】

東京での本講座とは異なり、ケース演習は含みません。また、受講枠毎のご参加となるため、修了証は発行されません。

# 開催要項

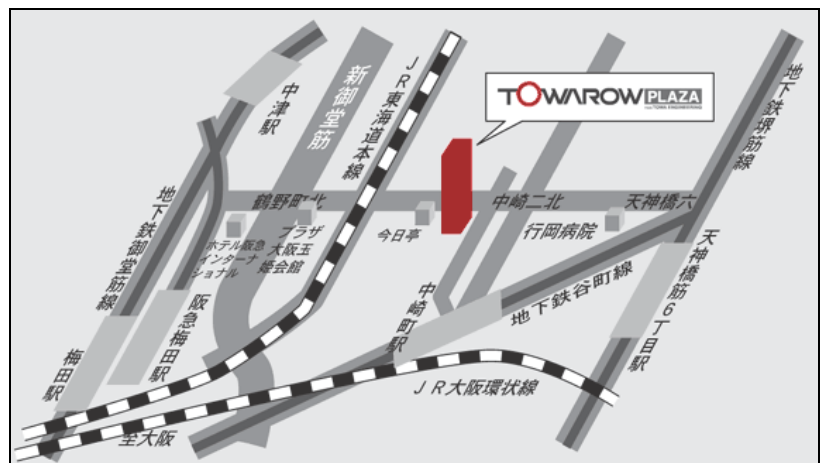
	東京会場 / 早稲田大学ビジネススクール	大阪会場 / TOWAROW PLAZA
【 期 間 】	2006年9月4日(月)～9月8日(金)	2006年9月4日(月)～9月7日(木)
【 対 象 】	実務経験を活かしIROへのキャリアアップを志向する方、執行役員としてIROを担うことになる方	
【 講義形式 】	対面式・ケース演習含む	テレビ会議システムによる遠隔講義
【 定 員 】	20名	20名/枠
【 受講料 】	¥420,000- (税込)*	¥21,000-/枠 ~ ¥42,000-/枠
【 主 催 】	早稲田大学ビジネススクール(早稲田大学アジア太平洋研究センター)	
【 会 場 】	早稲田大学ビジネススクール (早稲田大学アジア太平洋研究センター) 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1 早稲田大学西早稲田ビル 7F TEL: 03-3200-2436	株式会社東和エンジニアリング ショールーム 「TOWAROW PLAZA」 〒530-0015 大阪市北区中崎西 4-2-27 TEL.06-6292-8555
【 申込方法 】	添付の申込用紙にてお申込ください。	
【 お問合せ先 】	早稲田大学IRO 養成講座事務局 (ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社内) 〒102-0083 東京都千代田区麴町 1-10-13 ARCHE 麴町 2F Tel.03-3512-0907 Fax.03-3512-0908 waseda_iro@j-eurusir.com http://www.j-eurusir.com	

※… IRPにも参加の場合: ¥367,500- (税込)

## 早稲田大学西早稲田キャンパス周辺マップ



## TOWAROW PLAZA マップ



# 早稲田大学 インベスター・リレーションズ・オフィサー(IRO)養成講座

受講申込書 Fax:03-3512-0908

ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社(早稲田大学 IRO 養成講座事務局) 行

下記講座の受講を申込みます。つきましては受講料振込み要領を送ってください。

(ご希望の会場に☑して下さい。)

東京会場

大阪会場※

貴社名			
ご所属・お役職			
ご芳名			
所在地	〒		
TEL		FAX	
e-mail address			

注1) 本講座は早稲田大学ビジネススクールがジェイ・ユーラス・アイアール株式会社に運営事務を委託しております。そのため、「申込書」および講座受講時にご提供いただいた個人情報、主催元である早稲田大学と事務局のジェイ・ユーラス双方で管理させていただきます。あらかじめご了承ください。

注2) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社では、IR に関するコンサルティング事業の遂行にあたり、個人情報の収集、利用、預託および提供をする必要がある場合、日本工業規格「個人情報に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q 15001)ならびに法令、および、その他の規範に準拠した当社のコンプライアンス・プログラムを遵守し、厳正な管理の下で当該個人情報を取り扱います。

※ テレビ会議システムによる遠隔講義のため、大阪会場にお申込の方は必ず下記「受講希望」欄に☑して下さい。

	時間	分類	内容	講師	受講希望	受講料(税込)
9/4 (月)	1 時限(10:00~11:20)	講座開始にあたって	企業の戦略展開とIR/事務局連絡	花堂 靖仁	① <input type="checkbox"/>	¥21,000-
	2 時限(11:30~12:30)	IR環境編	企業年金連合会から企業に期待するもの	鹿毛 雄二		
	3 時限(13:30~14:30)	IR環境編	セルサイドアナリストから見た日本のIR	松島 憲之	② <input type="checkbox"/>	¥42,000-
	4 時限(14:40~15:40)	IR環境編	運用機関から見た日本のIR	蔵元 康雄		
	5 時限(15:55~16:55)	IR環境編	資本市場の規制の展開方向とIR	大崎 貞和		
	6 時限(17:00~18:00)	IR環境編	東京証券取引所の展開方向	長友 英資		
9/5 (火)	1 時限(10:00~11:20)	実務基礎編	資本コストの改善とBSC	西山 茂	③ <input type="checkbox"/>	¥23,100-
	2 時限(11:30~12:30)	実務基礎編	会計基準と開示ルールの最近の動向	吉村 貞彦		
	3 時限(13:30~14:50)	実務基礎編	会社法施行とIR~M&Aの新局面	鳥飼 重和	④ <input type="checkbox"/>	¥38,850-
	4 時限(15:00~16:00)	実務応用編	敵対的M&A企業防衛の実務	岩田 宜子		
	5 時限(16:15~17:45)	実務基礎編	デットIR	松田 千恵子		
9/6 (水)	1 時限(10:00~11:20)	実務応用編	企業財務とIR	高橋 文郎	⑤ <input type="checkbox"/>	¥23,100-
	2 時限(11:30~12:30)	実務応用編	米国におけるREGFDとガバナンス	高山 与志子		
	3 時限(13:30~14:30)	実務応用編	子会社上場とグループIR	稲岡 稔	⑥ <input type="checkbox"/>	¥31,500-
	4 時限(14:40~15:40)	実務応用編	内部統制の理解とその開示	鳥生 裕		
	5 時限(15:55~16:55)	実務応用編	経営戦略としての知的資産経営	住田 孝之		
9/7 (木)	1 時限(10:00~11:20)	IR実践編	決算説明会から見る問題点	北川 哲雄	⑦ <input type="checkbox"/>	¥23,100-
	2 時限(11:30~12:30)	実務応用編	非財務情報開示の動向	芝坂 佳子		
	3 時限(13:30~14:30)	実務応用編	XBRLの活用	筏井 大祐	⑧ <input type="checkbox"/>	¥23,100-
	4 時限(14:40~16:00)	IR実践編	IR実践のポイント	本多 淳		

注3) 大阪会場にて遠隔講義にご参加いただいても、修了証は発行されません。予めご了承ください。